

組織の目標設定シート(行政経営Aシート)

組織	文化振興課
職	課長
氏名	兼政 隆志

組織の使命・役割	何のために我が組織が存在するのか、我が組織が果たすべき使命・役割は何か
<p>本県には、藩政期以来培われてきた加賀百万石の伝統文化が今も息づくなど、多様で質の高い文化があふれている。この本県の優れた文化に一層磨きをかけ、県民共通の財産として次の世代へ確実に引き継いでいくとともに、新たな文化の創造に取り組んでいく必要がある。このため、文化振興の拠り所となる「いしかわ文化振興条例」に基づき、令和5年秋の第38回国民文化祭及び第23回全国障害者芸術・文化祭である「いしかわ百万石文化祭2023」の開催も見据え、さらなる文化の高みと裾野の拡大を目指し、文化の担い手である県民の文化活動を積極的に支援するなど、文化振興施策を効果的に推進していく。</p>	

組織の目標	使命・役割を果たす上で、我が組織が目指すゴール(成果)は何か、その目標値はどのような水準か
(定性的目標)	何をどのような状態にしたいか
<p>①文化立県石川の知の殿堂として、また新たな賑わいの拠点として、多くの県民に利用いただける図書館を目指す。 ②本県の優れた文化を県民共通の財産として次の世代へ確実に引き継ぐとともに、新たな文化の創造を通じて文化の裾野の拡大とさらなる文化の高みを目指す。 ③県民の文化意識の向上を図るとともに、多くの人が文化を鑑賞できる機会の充実、文化施設の利活用促進など、全ての県民が文化に親しむことのできる環境づくりを進める。</p>	

(定量的目標)	具体的な指標、目標値を設定する				
目標とする成果指標	現行値	年(度)	目標値	年(度)	目標値の設定根拠(他県との比較など)
①県立図書館入館者数	122,689 人	R2 年度	1,000,000 人	R5 年度	旧図書館の実績を超える数値とする。
②兼六園周辺文化施設入館者数(5施設)	437,371 人	R3 年度	913,000 人	R4 年度	兼六園周辺文化施設(5施設)＝県立美術館、県立歴史博物館、石川四高記念文化交流館、県立能楽堂、加賀本多博物館 過去平均実績並以上でかつ中期経営目標の数値とする。
③音楽堂邦楽ホール入場者数・能楽堂利用者数	58,948 人	R3 年度	112,000 人	R4 年度	過去平均実績並以上でかつ中期経営目標の数値とする。



令和4年度に重点的に取り組むべき課題	左記の具体的な内容を記載する
①新たな賑わい拠点としての新県立図書館の魅力創出	今年7月に開館した新たな図書館では、近年開館した都道府県立図書館ではトップクラスとなる、約30万冊の図書を開架するほか、本や資料で習得した知識を実際に体験することができるスペースを設けるなど、新たな賑わい拠点として様々な工夫を凝らしている。その中で、利用者が、図書はもとより、人・もの・情報に出会える体験やイベントを、年間を通じて切れ目なく提供する。(※)
②兼六園周辺文化の森における文化の魅力発信と文化観光の推進	昨年度、県、金沢市、(独行)国立美術館の三者で、文化観光推進法に基づく「兼六園周辺文化の森地域計画」を策定し、文化施設を観光拠点として磨き上げる取り組みを進めることとした。 今年度は、県立美術館や歴史博物館等で、本県ゆかりの名品が集結する特別展や多彩な文化イベントを開催するほか、県立美術館のVRシアター、四高記念文化交流館のレトロ文化魅力発信拠点の整備を進めることで、エリア一帯の賑わい創出を図る。(※)
②多彩な文化イベントの開催支援	コロナ禍であっても、感染症対策のガイドラインに基づき、安全に文化イベントが実施されている中で、県としても、様々な工夫を講じながら、クラシックや伝統芸能のイベント等を開催することで、本県の文化活動の維持・継続を図っていく。(※)
③いしかわの優れた文化の裾野拡大	本県には、音楽、美術、演劇といった芸術のほか、藩政期以来培われてきた伝統芸能や伝統工芸、生活文化など、多彩な文化があふれており、これらの優れた文化を県民共通の財産として次代に継承し、さらなる発展につなげていく必要がある。 このため、次代の文化を担う子どもたちによる発表と交流の場の提供や、「いしかわ県民文化振興基金」による県民の自主的・主体的な文化活動の支援を行うことにより、本県文化の魅力のさらなる磨き上げを図る。(※)

※) 新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、当初の予定どおりの開催が困難となった各種イベント等については、一部中止・延期するほか、可能なものは内容の変更・規模の縮小を行った上での開催を目指す。